



小型実証衛星1号機 (RAPIS-1)



粒子エネルギー spektrometer (SPM)

革新的衛星技術実証1号機/イプシロンロケット4号機

1月18日、内之浦宇宙空間観測所において、革新的衛星技術実証1号機を搭載したイプシロンロケット4号機が打ち上げられました。

当社が開発を担当した機器は以下のとおりです。

【イプシロンロケット搭載機器】

電力シーケンス分配器 (PSDB), ホットガスバルブ (HGV) モータコントローラ

【小型実証衛星1号機 (RAPIS-1) 搭載機器】

粒子エネルギー spektrometer (SPM), 宇宙環境計測装置 (TEDA)

【人工流れ星実証衛星「ALE-1」搭載機器】

小型 CCD 恒星センサ

小型実証衛星1号機に搭載されている機器は、衛星に影響を及ぼす恐れのある軌道上の放射線環境データを取得することを目的とした装置です。

明星電気の観測機器はこれからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

※革新的衛星技術実証1号機: 小型実証衛星1号機、超小型衛星・キューブサットなど7つの衛星で構成されています。

(担当: 宇宙防衛事業部)



JAXA様感謝状

宇宙航空研究開発機構様より感謝状をいただきました

2018年11月、JAXA種子島宇宙センター打ち上げ50周年を記念して、感謝状をいただきました。これは、種子島で初めてロケットが打ち上げられてから50年が経ち、地元住民の皆さまならびに関連団体・企業へ、50周年の節目を迎えるにあたって感謝状が贈呈されたものです。

当社は、ロケットや衛星などへの搭載機器の開発、さらにロケット打ち上げ時にはラジオゾンデによる種子島上空の気象観測などにより、日本のロケット開発の推進に関わっています。

明星電気は、これからもさまざまな場面で日本のロケット開発の推進に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



東京大学宇宙線研究所様感謝状

東京大学宇宙線研究所様より感謝状をいただきました

2018年12月、東京大学宇宙線研究所様主催の望遠鏡アレイ実験10周年を記念する式典において感謝状をいただきました。望遠鏡アレイ実験は、超高エネルギー宇宙線を高精度で検出する実験です。アメリカ・ユタ州の砂漠に基盤の目状に1.2km間隔で配置された約500セットの「地表粒子検出器」と、大気蛍光を検出するための反射望遠鏡からなる「大気蛍光望遠鏡」で構成されています。

当社は、大気蛍光望遠鏡用FADCモジュール(6,144chの信号処理部)の開発と、地表粒子検出器のシンチレータボックス100台の組立作業を担当しました。超高エネルギー宇宙線は、既知の物理・宇宙論では説明できないことから、新たな理論が開拓される可能性があるとされています。

明星電気は、これからもさまざまな観測に貢献できるよう事業を展開していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。